

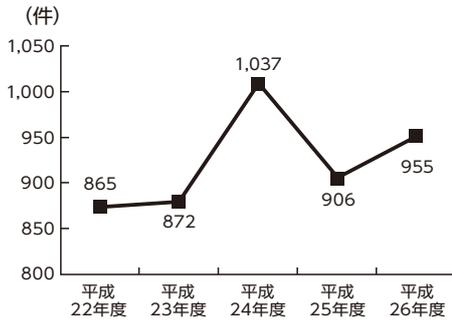


みんなで守る 子どもたちの未来

年々、深刻化している児童虐待。新聞やテレビでの報道も後を絶ちません。子どもたちを虐待から守るために、親だけではなく周りの人ができることもあったのではないのでしょうか。

今回は、児童虐待の現状や傾向から親や周りの人が何をすべきか考えてみます。

問い合わせ こども未来課へ



(図1) 県内の児童相談所の虐待相談件数

近年、全国的に増えている児童虐待の相談件数。県内の児童相談所では(図1)のとおり、平成24年度に大幅に増加し、翌年に一度減少していますが、全体的に見ると増加傾向にあります。このように相談件数が増加して

児童虐待は増えているのですか

一本の連絡が 早期発見の鍵

宗像児童相談所
児童福祉司
大野敦士さん

×

Interview



いるのは、警察をはじめとする関係機関の連携が進んだことや児童虐待に関する意識が高まり、これまで表面化していなかった実態が浮き彫りになったものです。しかし、実際には、相談件数以上の児童虐待が起きていることが考えられます。

—どのような虐待が起きているのですか

児 童虐待の最近の傾向として多いのは、ネグレクト(保護の怠慢・拒否)や身体的虐待です。児童虐待が起ころ原因はさまざまですが、保護者自身が子どものころに虐待を受けていて、子どもに対する愛情の伝え方が分からないということも多くあります。子どもだけでなく保護者へのサポートが必要なケースも増えているのです。

—気になることがあるときはどうすればよいですか

児 童虐待の発見に欠かせない通報や相談。これらの多くは役場や福祉事務所、保健センターなどからで、次いで近隣・知人からとなっています。虐待をしている本人や虐待を受けている子どもからの通報や相談はほとんどなく、周りの人の声が発見の大きな鍵となります。

周りの人は、日ごろから子どもの言動や行動に目を向け、少しでも気になることがあるときは役場や児童相談所に通報してください。通報のときに名前を名乗る必要はなく、たとえ通報が間違っていたとしても罰則はありません。保護者には、子育てに疲れたときや悩みがあるときは、我慢せずに身近な人や役場、児童相談所に相談してもらいたいです。

児童虐待とは

子どもを守るべき親などの保護者が、子どもの体や心を傷つけること。虐待のつもりでなくても、子どもが



どう感じ、傷ついているかによってその行為が虐待かどうか判断されます。

身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とすなどの暴力や屋外に締め出す、やけどをさせるなどの行為。

性的虐待

子どもへの性交や性的行為を見せること。ポルノグラフィの被写体にするなども当てはまります。

心理的虐待

言葉で脅す、無視するなどの行為。DVなどを子どもの目の前でやることも当てはまります。

ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、車の中に放置するなどの行為。

地域の人も子育て中の人も

子ども笑顔 守っていきまう

児童虐待は、子育て中の親子だけの問題ではなく、地域全体で防止に取り組む必要があります。あなたの周りに苦しい思いをしている親子はいませんか。子育て中の親子の笑顔は、地域みんなで守っていきまう。

困っている家族には
優しい声掛けを



近年、核家族化などから子育て世帯と地域のつながりが薄れつつあります。隣近所の人を知らないということも珍しくありません。そのような中で、もしかするとあなたの周りにも育児に悩んでいる親や助けを求めている子どもがいるかもしれません。児童虐待を防止するためには、地域全体が、子育て世帯にとって心地よい居場所になることが大切

です。子育て中の親子には、日ごろから優しく声を掛けることなどを心掛けまう。

虐待かもと思ったら
迷わず連絡してください

今年の7月1日から児童相談所全国共通ダイヤルが「189」番になりました。この番号に連絡すると、近くの児童相談所につながる仕組みになっています。

もし、あなたの周りで「子どもが虐待を受けているかも」と思ったときは、虐待をしているという確信が持てなくても迷わず連絡してください。あなたの連絡で、苦しい思いをしている親子を救うことができるかもしれません。



こんな様子に気づいたときは

いちはやく

189番へ

いつも同じ服装で、
元気がない表情をし
た子どもがいる

不自然なあざや
やけどがある子
どもがいる

そこまで怒らなくても、
と思うくらいお父さん
が子どもをしつこくし
かっている

小さい子どもが、暗
くなっても家の外で
一人で遊んでいる

近くの家からお母さん
の怒鳴り声や子どもの
泣き声が聞こえる



相談先はほかにもあります

全国共通ダイヤルのほかにも次の相談先があります。何か気になることがあるときは通報・相談してください。

■宗像児童相談所 094013713255

■宗像・遠賀保健福祉環境事務所
(遠賀分庁舎) 家庭児童相談室 20115075

■子ども未来館
■子ども未来課

子育て中の人も
一人で悩まないで

子育てしている人も、悩みや不安なことがあるときは迷わず相談してください。子どもの笑顔のためには、親が笑顔でいることが大切です。

また、あなたを支えてくれる場所がたくさんあります。一人で頑張り過ぎず、相談できる仲間を見つけてみましょう。

オレンジリボンを知っていますか

オレンジリボン運動は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼び掛ける市民運動です。オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

11月5日、町内の商業施設で民生委員・児童委員、主任児童委員、岡垣町が街頭啓発を行いました。このような活動を通して、オレンジリボンのことを一人でも多くの人に知ってもらい、児童虐待防止に対する意識の向上に取り組んでいきます。



子育てしている皆さんへ

一人で悩まず 仲間と子育て

子育ては、常に楽しいことばかりではありません。悩んだときは一人で抱え込まないでください。町には、あなたの子育てを助け、応援する場所がたくさんあります。ここではその一部を紹介します。

開催場所

- ▶ こども未来館
- 中央公民館
- いこいの里
- ★ 中部保育所

▶ 一時保育 (要登録)

保護者の急な仕事やリフレッシュなどのときに、子どもを一時保育します。

対象 町内に住んでいるまたは里帰り中の6カ月~就学前の子ども

保育時間 午前9時~午後5時 (休館日以外)

保育料 1時間= 400円、1日 (8時間) = 3千円

申し込み こども未来館へ



▶ ベビークラブ

助産師による子育てに関する話やベビーマッサージ、情報交換などを行います。

対象 生後2カ月前後~1歳ごろの子どもと保護者



とき 原則毎月第4火曜日午前10時~11時30分

問い合わせ こども未来館へ

▶ ぷくぷくクラブ (要予約)

手遊びや歌遊び、絵本の読み聞かせ、季節の行事などがあります。

とき 月1回午前10時~11時

申し込み こども未来館へ

対象 未就園児と保護者

ぷくぷくクラブには、子どもの年齢が近いママも来ているので、子育ての話や情報交換をしています。ずっと家の中にいるよりは外に出たいと思っているので、このようなイベントは外に出るきっかけになり、とても楽しいですね。



子育てに関する教室など

ところ/年齢	0歳	6か月	10か月	1歳	1歳半	2歳	2歳半	3歳	6歳
▶ こども未来館		ベビークラブ			なかよしひろば				
■ 中央公民館						ぷくぷくクラブ、子育て相談・自由広場、ママのじかん、一時保育			
○ いこいの里								子どもの発達相談	
★ 中部保育所								かるがも親子教室	
									園庭開放

▶ なかよしひろば

子どもと一緒に遊んだり、ママ友を作ったりできる
フリースペースです。

対象 10カ月～2歳未満の子どもと保護者
とき 毎月第3火曜日・第4水曜日午前10時～
11時30分
問い合わせ こども未来館へ

ママ友に教えてもらって参加しました。ここに来ると家事から解放され、とてもいい息抜きになりますし、子どもの年齢に合うおもちゃがたくさんあるので、楽しく遊べて助かっています。

親子そろって リラックス♪



☑ にこにこクッキング (要予約)

調理実習を通して、妊娠中から幼児期までの子どもの「食」と「からだ」のことを考えます。

とき・内容

○幼児食＝12月17日(木)
○離乳食＝平成28年1月21日(木)
ともに午前10時～午後0時30分
申し込み 健康づくり課へ



★ 園庭開放 (要予約)

同年齢の保育所の児童と子どもを遊ばせたり、育児の悩みを相談したりできます。

対象 町内に住む幼稚園または保育所に通園していない就学前の子どもとその保護者
とき 原則2カ月に1回午前10時～11時
申し込み 中部保育所へ



○ 子どもの発達相談 (要予約)

子どもの心の発達に関する相談を臨床心理士が無料で受けます。

とき 月1回午後1時30分～4時
申し込み 健康づくり課へ

こども未来館は、子どもたちが遊びを通じて心身ともに健やかに成長するための児童センターで、町内外から多くの子どもたちが遊びに来ています。また、子育て世代の保護者や子どもたちに、多くの親子との交流や相談の場を提供する子育て支援センターとしての機能も持っています。

町の子育て支援センター
こども未来館

あなたは同じように子育てに悩みを抱えている人はきっとたくさんいるはず。子育て仲間を見つけたり、子どもたちを遊ばせたりと気軽に利用してください。



▲毎月子育てに役立つ教室や息抜きできるイベントの情報をお知らせしています



こどもみらいかんメールは町公式ホームページでも確認できます